

まちひとしごと

#005 利根町指定有形文化財 蛟蛸神社

利根町には、歴史ある神社仏閣や文化財、史跡など、町民共有の財産ともいうべき、貴重な文化的・歴史的資産が数多く残されています。

その中でも、立木地区にある「蛟蛸神社」は、約二千三百年の歴史を持つといわれる延喜式内社として、全国的にも大変貴重な神社として知られています。

今回のシリーズ「まち・ひと・しごと」は、この蛟蛸神社と、同社が毎年旧暦の九月十四日深夜に行い、「馬鹿待ち」として親しまれている「蛟蛸神社例大祭」をご紹介します。

平成29年 蛟蛸神社例大祭（馬鹿待ち）

平成29年11月2日（木）午後10時斎行

馬鹿待ち（ばかまち）

と呼ばれる親しまれているこのお祭りは、蛟蛸神社の最も重要なお祭りとして旧暦の九月十四日午後十時に古式にのっとり神事を行います。以前は「蛟蛸の神馬と鹿島の神鹿との交歓のある日」だったことから、通称「馬鹿待ち」と呼ばれるようになったといわれており、宮司によると、現代でいう「婚活の日」「男女の出会いの場」のようなお祭りでもあったそうです。



1. 門の宮での神事を終えた氏子たちが、松明をかかげ再び奥の宮へ向かいます。2. 門の宮の拝殿内には、鮮やかな色彩で描かれた神馬図が飾られています。3. 湯立神事の祈念を行う友野宮司。4. 深夜の神事にもかかわらず、地元の方だけでなく、町外からも多くの方が参詣に訪れていました。

湯立神事（ゆだてしんじ）

笠貫沼から運んだ水を入れた大釜で湯を沸かし、玉串に見立てた枝葉を浸して湯を撒く神事。社名の（こうもう=みつち）は、伝説上の龍を指しますが、撮影された湯煙の形が、偶然、龍の姿の様にも見えました。

御衣焚神事（みそたきしんじ）

神御衣（神様の着物）を茅と真菰の松明の中に納め、御神木の所に運び焚き上げる神事

二千三百年の歴史をもつ 関東最古の水神さま

蛟蛸神社は、今から約二千三百年前、孝靈天皇（第七代天皇）三年（紀元前二八八）に、水神の弥都波能売命を、現在の門の宮の場所に祀ったのがその始まりで、文間大明神ともいわれています。

そして、文武天皇（第四代天皇）二年（六九八）には、土神の波邇夜須毘売命を合祀し、現在の奥の宮に遷座しました。

記録にあらわれた最初は、延喜五年（九〇五）に編集を開始した『延喜式神名帳』に「下総国相馬郡一座小社蛟蛸神社」と書かれています。

蛟蛸の名は、周囲が流れ海であったころの台地の姿が、水を分けて進む水蛇に似ていたためといわれています。

延喜式神名帳に記されている神社は式内社と呼ばれ、式外社と区別されますが、利根町の式内社は蛟蛸神社だけで、歴史的には、たいへん価値のある町内で一番古い由緒を持つ神社といえます。

また、二千三百年の歴史ということで、水神を祀る神社としては、関東最古と呼べるものです。



神事

奥の宮の鳥居を潜り、手水でお清めをします。

そして、拝殿内での衣替え神事を行ったあと、氏子たちが松明を持って約700m先の門の宮へ向かいます。

門の宮での神事（衣替え・祝詩等）を終えると再び奥の宮に戻り、氏子・崇敬者の無病息災をご祈念して行う湯立神事、古い神御衣（神様の着物）を巨大な松明で焚き上げる御衣焚神事へと続き、すべての神事が終了となります。



奥の宮拝殿内で行われる衣替え神事

十一月二日午後十時から斎行された本年の馬鹿待ちは、途中から、あいにくの雨となつてしまいました。無病息災を祈る地元の方々や、噂を聞きつけて遠方から足を運んだという方など、多くの参詣者が、この珍しい深夜の神事を見るため、蛟蛸神社を訪れました。

奥の宮（おくのみや）

Oku-no-miya

文武天皇2年（698）、土神の波邇夜須毘売命（はにやすひめのみこと）を合祀し、現在の奥の宮の東の高台に遷座した奥の宮。記念事業により2015年に新拝殿へと改築されました。



奥の宮の拝殿内に入ると、天井に描かれた大迫力の龍神画が現れます。（作者は、日本画家 藤田飛鳥氏）



奥の宮では、かわいい狛犬がお出迎えてくれます。

門の宮（かどのみや）

Kado-no-miya

奥の宮から西へ約700mの場所にある門の宮。慶長3年（1598）の布川藩主松平信一が再建したという記録が残されています。



昨年大ヒットしたアニメ映画「君の名は。」の宮水神社の鳥居は、門の宮の鳥居がモチーフとなっており、最近では、聖地巡礼として遠方からも足を運ぶ方が増えているそうです。



1～2. 深い緑に包まれた静かな境内にある奥の宮社務所では、2300年の歴史や数々の逸話をテーマにした蛟蛸神社オリジナルのお守りや趣深い品々を頒布しています。3. 蛟蛸神社は、御朱印がもらえる利根町でも数少ない神社。力強い字体の御朱印は見るだけで元気がいただけそう。御朱印集めをされている方は是非。



この特集ページに関するお問い合わせは、役場 企画課 シティプロモーション係（68-2211）まで



蛟蛸神社

利根町指定有形文化財

住所：（奥の宮）利根町立木 882
（門の宮）利根町立木 2184
TEL：0297-68-7278
FAX：0297-68-8957
駐車場：あり
公式HP：www.koumoujinja.jp

【取材協力】蛟蛸神社 宮司 友野 雅弘氏
【資料提供】タヌポンの利根ぼんぼり
http://toneponpokou.tanuki-bayashi.com/